

『プリセプター研修』

研修会実施報告

日時 : 令和5年4月28日(金) 8:30~17:15

対象者 : 教育担当者 実地指導者(プリセプター)

参加者数 : 24名

目的 : 新人教育に必要な役割を理解し遂行できる能力を習得する

<講師の紹介>

前年度新人教育委員会委員長
3階A病棟 看護師長



<内容>



今年度の新人教育担当者、プリセプターを対象に講義していただきました。はじめに、当院で行われている新人看護師の1年間の研修内容について説明していただきました。次に、今時の新人看護師は素直で受け身、のんびりしておおらかな傾向があり、伝え方の工夫があるため具体的な関わり方としては、指導者の思考を言語化して伝えていくことが効果的であると教えて頂きました。また、就職して3ヶ月後は、リアリティショックを受けやすい時期であり、

看護技術の習得や業務内容の指導だけでなく、新人看護師の心理的な状況に目を向けることも指導者の大切な役割です。さらに、指導者が悩みやすい13例の事例を用いて、どのような関わりが適切であるのかを学びました。受講生からは「事例を用いた学習では実際の場面をイメージでき、実践可能な内容で参考になった。」と意見がありました。午後は「新人の看護実践力を伸ばす指導」についてオンライン研修を受講しました。看護師として看護課程に基づいたケアの実施と評価、修正することの重要性を学習し、指導者も自らの看護を振り返ることができました。今回の学びを各部署で伝達し、スタッフ皆であたたかく見守りながら、新人看護師をサポートしていきたいと思えます。